

# 登山・登攀の記録

## 北アルプス 劔岳ハッ峰 I 峰Ⅲ稜～ハッ峰主稜～早月尾根下降

日時:2001年4月28日～5月1日

メンバー:L 中西博己、井田陽介、新谷岳史、牛田一成(顧問)

概要:GWを利用してハッ峰をI峰東面から登った。

### 記録

4月28日 快晴

黒四ダム(8:15)ー内蔵助平(10:40)ーハシゴ谷  
乗越(12:40)ーⅢ稜末端(13:50)

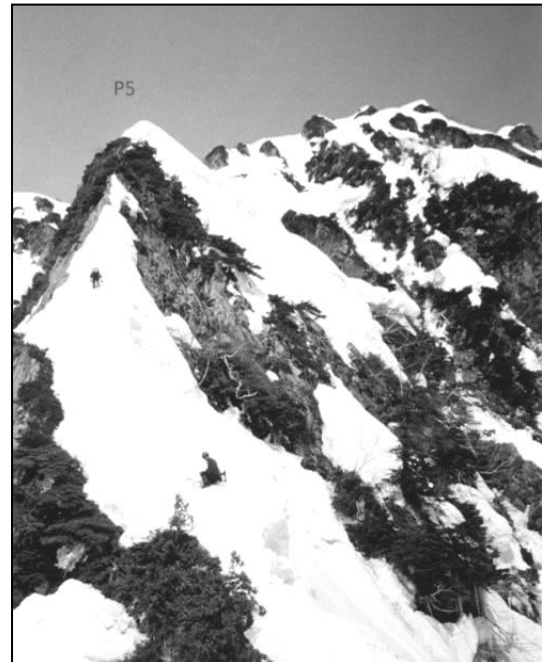
例年に比べて雪が少ない。ハシゴ谷乗越からは、ハシゴ谷を下る。四の沢を少し登ってからⅢ稜に取り付き、テントを張った。

らはトレースがあった。IV-Vの科尔に下るとIV稜パーティーがテントを張っていた。VI峰側の雪壁を切り崩してテントを張る。整地をしていると雪が降ってきたが、雪は夜には雨に変わった。

Ⅲ稜P5を登る中西



Ⅲ稜を見上げる



4月29日 晴のち雪

5:00 出発 P3(7:10)ーP5(11:25)ーI峰(14:25)  
ーIVVの科尔(17:00)

雪壁を登りP1の基部につく。ここから1ピッチFIXを張ってトラバースし、スベリ台ルンゼに入る。カリカリにしまったルンゼを登り再び尾根に出て、雪壁を超えるとP3に着いた。細い尾根沿いに2ピッチ進んだ後、やさしい雪壁を1ピッチのぼりP4に着く。P4は広く幕営も可能だ。P4からは一部雪の途切れたほそい雪稜を行く。P4から2ピッチでP5に着く。ここで核心は終わりだと思ったが、P6の登りの雪壁はクレバスだらけだった。直登は無理なので右から大きく回りこんで登る。雪壁を2P登ってP6の直下に着き、ここでザイルをしまふ。傾斜のきつい雪壁を超えてI峰に着いた。ここか

4月30日 雨のち晴

出発(10:45)ーVVIの科尔(12:10)ーCフェース  
の頭(13:20)ー池ノ谷乗越(18:00)

雨がやむのを待って出発する。V峰からは長次郎谷側に懸垂下降に40m+30mでVVIの科尔に下りる。VVIの科尔で休憩しているとVI峰の雪壁からは小規模な雪崩がバンバン落ちてくる。登ると、ステップが決まりにくく非常に怖い。怖い登りを終えると少し平らなCフェースの頭に着いた。降りたところからEフェースの頭までは極細のナイフリッジ。VII峰のピークからは尾根沿いに行かず三ノ窓谷側に懸垂下降後トラバースしてVIIVIIIの科尔

## 登山・登攀の記録

---

に出た。Ⅷ峰は三ノ窓側をトラバースした。再び尾根に出て岩稜を少し登るとハッ峰ノ頭に着いた。ここからは小窓尾根や劔尾根、北方稜線の山々が見えてすばらしい眺望だった。池ノ谷側に二回懸垂下降し、池ノ谷乗越についた。

ハッ峰下半を振り返る

5月1日 快晴

出発(5:15)－劔岳(6:10)－早月小屋(8:15)  
－馬場島(11:30)

昨日のハッ峰に比べるとなんてことのない雪稜をたどる。数回雪壁をこえて劔の頂上に出た。早月尾根の最初のクロアールの下降はおそろしい。早月小屋まで下り、もうこけても死なないと思うと、緊張が切れてどっと疲れが出てきた。松尾平から先は雪がなくなり、夏道を降りた。

(記／新谷)



小窓尾根を見下ろす

